

七十八代 紫 一刀流侍伝説

あらすじ

皆々様、お静かに——。

時は江戸。何の取り柄もない一人の小僧は、身分違いの娘と結ばれ、幸せな日々を送っていた。しかし、その平穏は鬼の襲来によって打ち碎かれる。

無力だった小僧は、大切な人を守るため旅へと出る。

道中、ラーメン店主、刀鍛冶、応援団など、

個性豊かな仲間たちと出会い、試練を乗り越えながら成長していく。

涙の先に待つのは絶望か、それとも希望か——。

果たして小僧は鬼を討ち、愛する人を救うことができるのか。

さてさて、その結末やいかに——。

それでは皆様、『一刀流侍伝説』、始まり、始まり～！



侍

最愛の人を失い鬼に復讐を誓い
侍に成り上がる小僧。
物語の主人公である。



ラーメン店主

町一番の人気を誇るラーメン屋の主人。
一杯のラーメンで旅人たちを支え、
心と体を温めてくれる存在。



刀鍛冶

名刀を打つことに人生を懸ける職人。
小僧の覚悟を認め、鬼を討つための
運命の一振りを鍛え上げる。



嫁

小僧が命よりも大切に想う最愛の人。
鬼に狙われながらも、小僧を信じ続ける
物語の鍵を握る存在。



鬼

人々を恐怖へと陥れる最凶の存在。
圧倒的な力で町を支配し、
小僧の前に立ちちはだかる宿敵。



応援団

旅の途中で小僧を支える心強い仲間。
どんな逆境でも声援で士気を高め、
仲間たちを勝利へ導く。

